

な る ど

八戸聖書キリスト教会
牧師：澤田 隆一
電話：0178-43-3091

NO・31
2016年、
3月27日



エマオの途上（ルカ24：13－35.）

ちょうどこの日、ふたりの弟子が、エルサレムから十一キロ余り離れたエマオという村に行く途中であった。

ルカ24章13節

これは、キリストが復活されてから後に起こった出来事とされています。婦人たちがキリストの葬られた墓に行き、空の墓を目にします。そしてペテロともう一人の弟子が空の墓を確認します（ヨハネ20：1－10.）。

この直後に、キリストは御自身が確かに復活されたことを信じさせるために、12弟子の前に姿を現されました。（マタイ28:16-20.マルコ16:14-18.ルカ24:36-49.ヨハネ20:19-23.）

弟子のひとりでトマスと呼ばれる者はこの時不在だったため、頑なにキリストの復活を拒んだとも書かれています。しかし、彼は実際に復活されたキリストに会い、直接み声を掛けられる体験を通して、本当に復活されたと信じる者へと変えられました。（ヨハネ20:24-28.）

そのような出来事がありました。キリストの周囲に居た12弟子たち以外の弟子たちの中には、やはり未だ復活を信じることができない者たちも居たようです。それが、エマオへと向かう途中の2人なのでした。

一人は「クレオパ」（24:17.）という名前が分かっているけれども、もう一人は名前が登場しません。しかし、彼らはキリストの弟子達の中に居た者達であり、エマオへ向かう途中でも、その復活について議論していたと記されています。（ルカ24：14.）

そもそも、彼らは何故エマオへ向かおうとしていたのでしょうか。恐らく、「信じない」（ルカ24：25.）とキリストが言われた通り、彼らの信仰はこの時点では失われており、12弟子が受け取ったメッセージ「ガリラヤで」（マタイ28：7）と言われたみことばさえも否定して、自分たちが向かいたい先へ行こうとしていたと思われます。

（エマオは聖書地図で確認すると北東のガリラヤとは違う方向：西方）

彼らが信仰を捨てて、我が道へと向かう途中で、キリストはご自身を現し、預言者が語ったみことば（旧約聖書）からご自身が預言されたメシアであること、十字架につけられて死に、復活されることを語られました。そして、宿屋でパンを割き、祝福を祈られた時、ようやく二人の目は開かれたのです。

キリストは信仰を失いそうな人の処へ来て下さるお方です。それは、失われた人を探して救いへ導かれる愛の姿なのです。このイースターを共にお祝いしましょう。

八戸だより

教会学校や子供達

2/6(土)教会学校のお餅つきをしました。生徒のお友達や近所の子も飛び入りで参加して7人の子供達と7人の大人でつくたてのお餅をちぎったり、好きな味付けをして過ごしました。

内容：お餅つきと味付け

・ショートメッセージ(澤田師)

新年度中学生になる子供達が3人居ます、お祈り下さい。



4月の召天者記念礼拝計画

・召天者記念礼拝、記念会

礼拝：4/17(日)午前10時30分～

記念会：同日礼拝後より開始

★今年は、音楽委員会企画の特別賛美と召天者を偲びながら、信仰と神様の愛を証しする機会となるように祈りながら備えております。

(*隣写真は昨年度の集会)

教会の近況など

- ・ K長老は毎週の礼拝へ参加され、お元気です。続けて回復のためにお祈り下さい。
- ・ 高齢の方々に、歩行困難になってきておられる方がおられます。癒しのためお祈り下さい。
- ・ 昨年末からM姉、sさんが礼拝を共にしておられます。感謝。
- ・ 教会に初めて集われる方々が増えてきています。2月Hさん、3月M姉(帰省)など。続けて集われる方々が各集会にくることができるようお祈りしています。
- ・ 今年も神様と共に歩みながら、教会の皆と共に過ごすことが出来ることを感謝します。(*写真はある礼拝風景の一コマです)

